



## ◆「遠隔授業」に取り組んでいます！（岩間第三小と岩間中をつなぐ遠隔授業）

笠間市では、1人1台端末を有効に活用して学習できるように、新しい学習様式「笠間スタイル」を進めています。笠間スタイルの授業の一つが「遠隔授業」です。

「遠隔授業」とは、離れた場所をネットをつなぎ映像や音声などのやり取りを行う授業のことで、学校同士をつないだ授業、専門性の高い講師による授業、外部人材の活用など、子供たちの学習の幅を広げることができます。

今年度は、茨城県教育委員会の研究指定を受け、岩間第三小学校に勤務するネイティブの英語教員（ニール・ファニング先生）が、岩間中学校の生徒に向けて、英語の遠隔授業を行っています。



岩間第三小学校・ニール先生

ネット  
で  
つ  
な  
ぐ



岩間中学校・佐藤先生，授業を受ける生徒（左から）



友部先生，ニール先生（左から）

ニール先生は、画面を通して、岩間中学校の生徒と、日本語を使わず、すべて英語で授業を行っています。

ニール先生の助手を務めるのは友部先生です。友部先生は、英会話に加わったり機器操作を行ったりします。

岩間中学校で授業を支援するのは佐藤先生です。佐藤先生は、生徒の学習をサポートしたり機器操作を行ったりします。

ネイティブの英語教員による専門性の高い指導は、学習効果が大いに期待されます。今年度は試験的に実施していますが、将来は、専門性の高い教師の遠隔授業が数多く行われるようになるでしょう。

## ◆ これからの遠隔授業について

### ○ 教科等の学びを深める遠隔授業

紹介した英語学習のほか、笠間小、稲田小、宍戸小では、遠隔授業で離れた場所や地域の様子を見たり聞いたりして学習しました。遠方にいる専門家等が講師となって授業に参加することで、自校だけでは実現できない専門性の高い学習を行うことができます。



### ○ 多様な人々とのつながりを実現する遠隔授業

みなみ学園では、台湾の中学生と交流授業を行いました。海外や他校との交流授業を行うことで、協働して学習に取り組んだり、多様な意見や考えに触れたりする機会を増やすことができます。

### ○ 個々の児童生徒の状況に応じた遠隔授業

一人一人の児童生徒と教員等がつながることで興味関心に寄り添った指導を行うことができます。また、特別な配慮を必要とする児童生徒に対して、それぞれの状況に合わせたきめ細かい支援を行うことができます。